

NPOひょうご思春期ピアカウンセリング研究会

ピアっ子通信 in ひょうご

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学高田昌代研究室内

Tel&Fax 078 (794) 8077 E-mail peer_hyogo@yahoo.co.jp http://www.geocities.co.jp/peer_hyogo/

2013年度思春期ピアカウンセラー養成講座開催

思春期ピアカウンセリングとピアエデュケーションはともに、思春期ヘルスプロモーションの方策であり、若者が自分自身で人生のゴールを見つけ、それを生き生きと実現しようとしていく力を育てる健康教育手法である。

その能力とは、自分やパートナーの人生設計を壊さないように、性=生に関する意識や行動を自分で決められる能力のことをいい、性=生の自己決定能力と呼ぶ。



第10回目となる思春期ピアカウンセラー養成講座を6月に開催しました。

22日・23日・29日・30日の4日間に宿泊研修を含む30時間の研修を神戸市看護大学としあわせの村で実施しました。

今年度は、京都橘大学と関西看護医療大学から12人の若者たちが集まりました。

人数は少ないですが、先輩ピアとともに力を合わせて、講義やグループワークに取り組み、思春期ピアカウンセリングについて学んだり、感じたりすることができました。

第10期ピアっ子たちの活躍を期待します。

目次：

思春期ピアカウンセリング関係者研修会	2
第5回思春期ピアカウンセリング全国大会	2
2012年度活動実績	3
思春期における発達障害の子どもと親との関係	4
メッセージ	4

新ピアっ子の感想・抱負

受講後のアンケートに記された新ピアっ子の数多い感想や抱負の中から一部を紹介します。

「いろんな人や先輩と関わることで自分の視野や考え方がすごく広がったし、講座で学んだことをたくさんの人に知ってもらいたいと思った。」「普段の生活でも役に立つと思った。他の大学の人たちとも仲良くなれて嬉しかった。」「2週連続は少ししんどかったですが、ピアに参加して本当に良かったです。」「ピアカウンセリングをする時の技術や心得などは難し

かったですが、とても参考になりました。また、少人数であったので、みんなと交わることができ、仲良くなることができたので、とても良い機会になりました。参加できてよかったです。」「人の話を聴く態度について見直せて、これからどうしたら良いか考えられるようになった。」「たくさんステキな先生方や仲間と出会うことができ本当に良かったです、嬉しく思います。本当にありがとうございました。これから10期生として仲間のみんなと頑張っていきたいと思います。」「

思春期ピアカウンセリング関係者研修会



思春期保健関係者が
多数参加

11月30日(土)に思春期ピアカウンセリング関係者研修会を「思春期の発達障害について考える」をテーマに、神戸市中央区のあすてっぴKOBEで開催しました。

思春期保健関係者など51人の参加があり、会場が熱気に溢れ、このテーマについての関心の高さがうかがわれました。

午前中は、関西学院大学文学部教授の米山直樹先生に日常の支援活動での経

験から、具体的な事例も豊富に交えて、大変わかりやすくご講演頂きました。

午後は、グループに分かれて、事例をもとに話し合い、どのような関わりをして行ったらよいかなどについて意見を交換しました。

(米山先生に「思春期における発達障害の子どもと親との関係」について寄稿していただきました。第4面をご覧ください。)

第5回思春期ピアカウンセリング全国大会

第5回思春期ピアカウンセリング全国大会が「アイシテル〜4つのアイ」をテーマに、10月12日(土)から13日(日)まで、熊本県の国立阿蘇青少年交流の家で行われました。

ひょうごピアからは、ピアっ子3人(京都橘大学)と大人ピア1人が参加しました。参加したピアっ子からのメッセージです。

全国ピアは集まる人が多く、規模も大きいため今までで一番楽しいピア活動でした。新しいエクササイズや活動内容を知り、取り入れたいことがたくさんでした。特にworld cafeでは短時間に幾人もの考えを知ったり共有できたりし、自分の視野を広げることができました。思春期である中高生に正しい答えは一つではないということを知ってもらうには有効なエクササイズだと感じました。

今回、改めてピア活動をして良かったと思いました。友人の輪が広がったのはもちろん考え方が柔軟になり、他者理解が以前よりできるようになったと思います。人はそれぞれにそれぞれの良さがあり、互いにその1つ1つを大切にしていかなければならないということを学びました。次は思い悩んでいる中高生に今までの私自身の経験を活かしてそれらを伝えていきたいです。

辻本ゆめこ(ピアネーム ゆめこ)

全国ピアを通して、私は、また更に自分が大きくなった気がします。まず、同じ活動を全国でしている仲間に出会えたことが心強く、ピアやピア活動に対する同じ思いを共有できてうれしかったし、自分が考えたり感じたりすることのなかったことも、他のピアっ子と一緒に活動する中で知ることができたし、新しい発見もあり視野を広げることができたと思います。

講演では、実際の声を聞くことができ、自分がピアを考えるうえでの貴重な要素となったと思います。今回の全国ピアでできた繋がりを大切にして、ピアの活動を広めていけるといいなと思いました。

ピアカウンセラーとしてピアの活動ができる幸せを感じながら限られた時間で頑張っていきたいです。

平岡華奈江(ピアネーム かなえ)

今回、全国ピアに参加して本当に良かったと感じました。

全国から集まったピアっ子は、あっという間に打ち解け温かい雰囲気となりピアの力を感じました。大学生以外にも社会人の方々がたくさん集まり、ピアにはたくさん魅力とパワーがあることを改めて実感できました。たくさんの人との交流を通して、自分にとってのピアとは何か、自分は中高生に何を伝えたいのか、これからピアっ子としてどうしていきたいのか、ということを考えさせられました。

ピアへの思いがより一層強くなり、ピア活動をしたいと強く感じました。私たちの大学がある京都ではピア活動が広がっていないため、私たちが先頭をきって活動を広めていきたいと思いました。

政田美波(ピアネーム みーこ)



全国のピアっ子と
全国ピア in くまもと



ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会 2012年度活動実績

ピアカウンセラーの養成および関係者研修会の開催

第8回思春期ピアカウンセラー養成講座を神戸市看護大学ほかで開催しました。ベーシック講座は、2012年6月9日・10日・16日・17日に行い、16人が修了しました。そして、実践経験を踏まえ、2013年2月9日・10日にフォローアップ講座を行いました。

思春期ピアカウンセリング関係者研修会は、2012年12月8日に神戸市中央区の神戸国際会館で開催しました。

「思春期に気づく月経困難症と子宮

内膜症」をテーマに、日本生命済生会付属日生病院産婦人科医の橋本奈美子さんを講師にお招きし、思春期ピアカウンセリング関係者およびピアっ子36人の参加がありました。

また、2013年2月10日にピアっ子対象の公開講座「STIの現状と課題—オーラルでもうつります」を開き、神戸市保健所医務担当部長の白井千香先生に最新の情報や研究についてお話をいただきました。



公開講座で最新の知見に触れてブラッシュアップ

ピアカウンセリング・エデュケーションの実践支援

ピアっ子たちの実践活動は、少人数グループを対象としたピアカウンセリング、多数を対象としたピアエデュケーションおよび啓発を目的としたデモンストレーションに分かれます。

2012年度は、ピアカウンセリングを67回、ピアエデュケーション1回、デモンストレーションを1回、合計69回の活動を行いました。実施場所は、高校4校、中学校4校、その他6か所でした。延べ参加者は2,058人になり、ピアっ子の延べ参加数は291人にのびります。

京都府立私立中高等学校性教育研究会の要請があり、京都で養護教諭の先生方に京都橘大学のピアっ子を含む8人がデモンストレーションを行いました。思春期

【ピアカウンセリング実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
ピアルーム・柏原/丹波の森公苑	地域の高校生9人, 6回	延28人
ピアサポートルーム三宮	延71人, 10回	延59人
ピアサポートルーム名谷	延181人, 14回	延62人
神戸市看護大学	80人, 1回	8人
柏原高校	保健委員他30人, 1回	6人
神戸市立須磨翔風高校	2年生延960人, 24回	延68人
篠山産業高校丹南校	3年生, 33人, 1回	7人
北淡中学校	2年生71人, 2回	10人
一宮中学校	2年生73人, 2回	10人
洲浜中学校	2年生82人, 3回	9人
滝川第二中学校	3年生80人, 2回	8人
みつみ福祉会春日学園	中高校生8人, 1回	5人

【ピアエデュケーション実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
姫路北高校	1～3年生380人, 1回	3人

ピアの活動が兵庫県から広がっていくことを予感させます。

また、全国のピアっ子が同時に活動する啓発活動の一環として、12月8日に神戸市中央区で性感染症予防などを目的に街頭活動を行いました。



京都府立私立中高等学校性教育研究会でデモンストレーション

会計報告

2012年度会計報告

(単位：円)

収入	1,768,134
支出	1,942,089
当期収支差額	△ 173,955
前期繰越金	252,750
次期繰越金	78,795

ピアっ子たちが活動するためには、地域の理解、環境整備、大人世代のバックアップは必須です。教育、医療、地域保健の関係者などたくさんの皆さんとともに力を合わせ、思春期の若者の性と生を支えたいと考えています。どうぞこの研究会にご参加ください。

年会費 個人会員3,000円 団体会員1口10,000円

思春期における発達障害の子どもと親との関係について

今回は思春期を迎えた発達障害のある子どもさんと親との関係について考えてみたいと思います。

私たちが思春期だった頃を思い出してみてもいいのですが、その時期は親から言われることが何かと癪にさわって、イライラした経験をした方も多かったと思います。そもそも思春期とは友人関係や恋愛感情、あるいは自分自身が何者なのか悩む時期だといえます。そうした悩み多き時期にあれこれ親から言われたら、ついつい反抗的な態度をとるのも無理ありません。しかし、私たちは自分がかつて同じような経験をしたことを忘れて、自分の子どもの変化に戸惑い、不安を感じ、かえって感情的に接してしまうことがあるかもしれません。

特に発達障害のある子どもをもつ親にとっては、そうした子どもの反抗的な態度が、「このまま大人になっていったら大変なことになるのではないか」「発達障害が悪化したのではないか」との不安を生じさせ、ますます過干渉的な対応をとらせてしまうことがあります。その結果、子どもの反抗的な態度がさらにひどくなり、子どもとの関係性もどんどん悪化するという悪循環に陥ることがあります。

発達障害のある子どもの思春期における対応の難しさはここにあります。つまり、親にとっては「このままではいけない」という焦りの気持ちが生じ、ついつい過干渉的な関わりをもってしまいがちになります。さらに、子どもの反抗的な態度を障害が悪化したものと捉えて、さらに過度な・過剰な対応をしてしまい、問題をこじらせてしまうことがあります。しかしながら、たとえ発達障害があったとしても、思春期を迎えるとアイデンティティの確立やそれに伴う親からの独立願望の生起、そして異性への興味関心といった思春期特有の心的変化や2次性徴といった身体的変化は起きてきます。こうした心的・身体的変化が生じると、それ

まで素直に親の言うことを聞いていた子どもは、親からの指示に反発するようになります。そうした反発が親を不安にさせ、ますます親の側に過度な対応を取らせることとなり、関係がどんどん悪化していくことになるのです。

こうした思春期を迎えた子どもの変化に対して親ができることは限定されています。むしろ全ての問題を親が解決しようとするのが、問題を悪化させるともいえます。たとえ親の言っていることが100%正しかったとしても、子どもの側は親から言われること自体が嫌な訳ですから、素直に受け取ることは難しいでしょう。こうした場合は、むしろ親以外の大人の存在が重要になってきます。親の方が何でも先回りして子どもの問題を解決しようとしてきた場合、子どもは親だけが問題解決スキルのモデルとして認識され、いざ思春期を迎えた時に親以外のモデルを見つけだすことが困難になります。そうした意味で、様々な大人や他者との交流を図っておくことはとても重要なことといえます。たとえば、親戚のおじさんやおばさんなどは斜めの関係であるため、アドバイスを受けたとしても親から言われた時ほどの抵抗感を抱かないで済むかもしれません。また、大学生のボランティアなども年齢が近い分、親に比べて関わりやすいかもしれません。

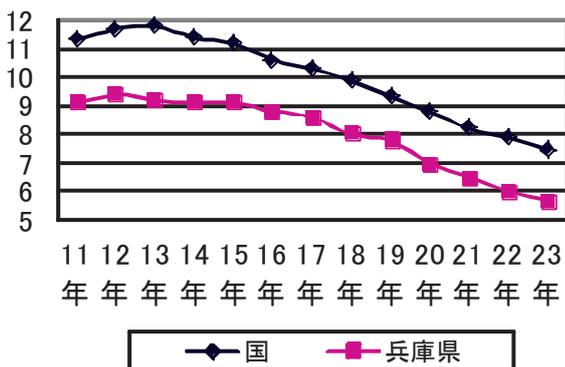
むしろ親の方は思春期を迎えた子どもが親に対して反抗的な態度をとるようになったことを「大人に一步近づいて、自分で歩くための準備ができたのだな」と喜んでいただきたいと思います。そして本人の世界が親の見える範囲から離れて広がっていくことを支援してもらいたいと思います。さまざまな大人との交流が本人の世界を豊かにし、「こういう大人もいれば、ああいう大人もいる」との認識を抱かせ、ひいては職業選択にも繋がっていくことになっていきます。

関西学院大学文学部教授 米山 直樹 先生

めっせーじ

ピアっ子たちの活動を支援くださいます皆様に感謝申し上げます。ピアっ子たちが卒業し、ピアっ子OBとなった先輩がピアカウンセラー養成者養成講座を受講しています。ただいま2人目のピアっ子OBが受講中です。実際にピア活動を行っていたピアっ子たちが、今度は新しいピアっ子を養成してくれることに期待で胸をふくらませています。これからますます若い世代が活躍してくれることを願っています。今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。(K・S)

人工妊娠中絶実施率
(15歳以上50歳未満女子人口千人対)



15～19歳の定点観測による性感染症の件数
(兵庫県及び神戸市)

